

令和3年度 戸塚区下郷推進地区 活動報告

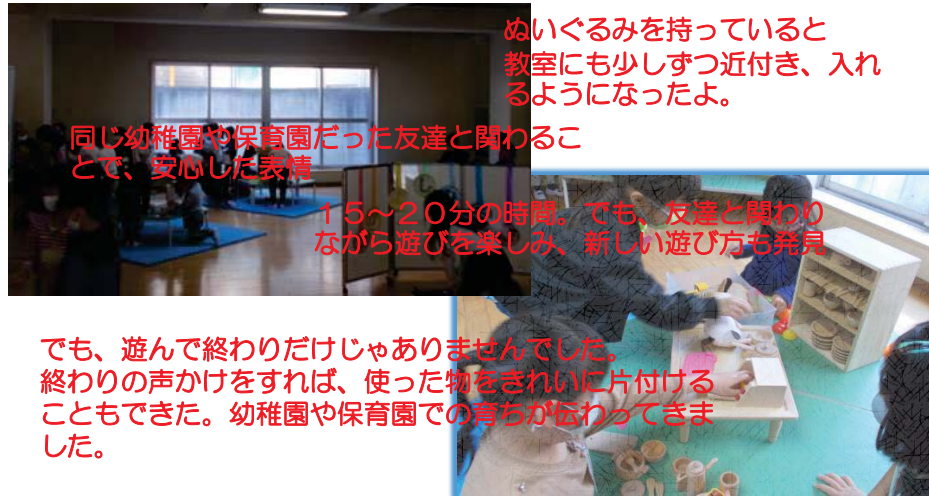
令和3年度は、コロナ禍の影響が反映し、対面による事業計画を遂行することが難しかった。

園児と児童との対面は、なかなか実現できなかったものの教諭同士で、それぞれの活動の共有化が図れるよう取り組みました。

スムーズな気持ちの移行【なかよしひろば】

登校した後のなかよしタイムの時間を好きな遊びをしたり、友達とかかわったりできるようにする場を設けた。

登校後から授業への移行には、三つの間（時間・空間・人間）が児童一人ひとりにとって適応しやすい環境を整えることが大切では？との思いから出発しました。



ぬいぐるみを持っていると教室にも少しずつ近付き、入れるようになったよ。

同じ幼稚園や保育園だった友達と関わることで、安心した表情

15～20分の時間。でも、友達と関わりながら遊びを楽しみ、新しい遊び方も発見

でも、遊んで終わりだけじゃありませんでした。終わりの声かけをすれば、使った物をきれいに片付けることもできた。幼稚園や保育園での育ちが伝わってきました。

学校での一日の生活をつくろう

【朝の時間】



H26年度の1年生が作成した指示表を引き継いで使用している。

登校してから、朝の学習時間までにやることを黒板に掲示しておく。番号を見て順番に確認しながら取り組むことで、8:20には全てのことを終えて朝の学習に取り組むことができた。



【休み時間】



外遊びの日と室内遊びの日があったので、外遊びの日は校庭の遊具やおにごっこなど、元気いっぱい遊んだよ。



室内遊びの日は、学級内に遊びのスペースを設けました。ブロック遊びやごっこ遊び、ときには6年生が作った下郷トラップで遊んだり、学校たんけん、図書室で読書などをしたりしていました。



【生活科『さかせたいな わたしのはな』】園でも取り組んだお世話体験を想起しながら、知識・技能を身につける2年生から種をプレゼントしてもらったことをきっかけに、花を育てる見通しをもった。一人一鉢で育てる「継続的に植物の世話をして大切に育てられる」「植物の変化や成長に気付けるようにする」「育てやすく児童の成功体験につながりやすいアサガオにした。」

○土づくり 4月28日
幼稚園や保育園のときに植物を育てるときに必要なものの経験話を聞きながら、土づくりを行った。



○発芽 5月10日
だいたい5～6日で発芽。小さい葉が見えたことに、子ども達は大喜び！薄いたんぽを覚えていた児童は、まだ出ていない場所を見て、『ここからも出てくるよ。』と話していた。

○日々の成長と世話
植木鉢はベランダに置いて育てた。教室からもすぐに見られる場所。登校するとすぐの水やり。成長の変化に気づいたりも。生活科の時間、観察日記をかくて成長の記録を作成。本葉が出ると、葉の手触りが違うことへの気づき。成長の様子を観察する習慣、ひらがなを使っての記録。



確かな学力を身につけることにつなげます。

葉が大きくなったり、つるが伸びたりしてくると、支える棒が必要ではないかと話題が出た。購入しておいた支柱を子どもの手が届く所に置いておき、自分のアサガオの成長に合わせて支柱を設置できるようにしました。



○開花 6月16日～
つぼみが出来てくると、『もうすぐ、咲きそう！』とワクワクしている子ども達。『～色の花が咲いて欲しい。』『たくさん、花が咲いて欲しい。』など、それぞれの思い、願いをもったの世話をしてきた成果。朝と帰り、1日2回水やりをしている児童のアサガオは、成長と開花が早かった。



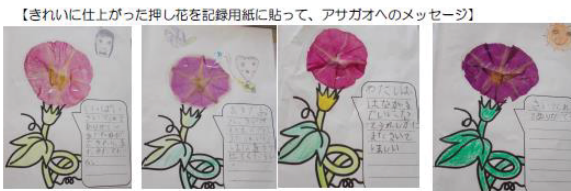
○あさがお なんて さいたかな



『今日は3個咲いたよ！』『つぼみがあるから、明日～個咲くと思う。』などと、咲いた花の数に興味をもっていたので、何個咲いたかを記録できるような用紙を用意。水やりの後に、色と数を熱心に記録していました。



○アサガオ遊び
アサガオは、朝つぼみだったものが昼間に見ると花が開いていることがあり、一日の中で変化の様子を見ることができた。一度花が開くとしぼんでしまう。「きれいに開いている花をとっておきたい。」という思いから、押し花にして遊ぶ児童も。しぼんでしまった花から、花の先の色が付いている部分を使っている色水遊び。園での体験がここでもい生きているようです。



【きれいに仕上がった押し花を記録用紙に貼って、アサガオへのメッセージ】

○たね なんこ とれたかな⇒ 算数につなぐ

夏休み中に種がとれたことから、なんことれたか記録する用紙を用意。
算数で『10より大きい数』を学習したので、10のまとまりで数えられるような形式にした。

○つるの活用

種木鉢や支柱から取ったつるを束ねて、丸い形にしてリースを作った。
秋の自然物（どんぐりなど）を付けたり、飾りを付けたりしてクリスマスリースを作った。



2月6日（月）第二幼稚園年長児と下郷小学校1年生と交流、戸塚公園からお越しください。
昇降口で土履きに履き替えていただき、靴を置いてください。
教室に入る前に、手洗いと手消毒をお願いします。

①10:00~10:30②10:30~11:00（活動時間は20分程度で予定しています。）

1年3組の場所：教室

単元名〇「おもちゃランドへようこそ」

単元目標〇秋の自然物で作ったおもちゃで、幼児と交流することができるようにする。

1年生の活動

- 〇遊びのコーナーを7つ設置
- かざり〇〇どんぐりなどで作った飾りを見て楽しむ。
- あいう〇〇どんぐりを迷路の中に転がして遊ぶ。
- ゲーム〇〇どんぐりを動かしたり、点数を入れたりする。
- こま〇〇〇のこまがよく回るか楽しむ。
- がっき〇〇音を楽しむ。
- けんぱ〇入れ物に、うまくのせることを楽しむ。
- でんでんたいこ〇音やどんぐりの動きを楽しむ。

- 〇幼稚園をお迎えして、案内するペアをつくる。
- 〇7つの遊びコーナーを回る。
- 遊びのメニュー用紙を持ち、体験したらスタンプを押していく。
- 〇遊びのメニュー用紙にスタンプが全部使ったら、お土産（秋の自然物で作った物）を渡す。

幼稚園児の活動

- 〇1年生の案内で、遊びのコーナーを回る。
- 〇それぞれのコーナーで遊びを体験する

卒園生にも
会えました

先輩？後輩？



1年生の場所：戸塚公園	
単元名〇「いっしょにじゆんものしり」	
単元目標〇幼児と交流することについて、その楽しさを見つくとともに、相手のために配慮すべきことがあることを見つけている。	
1年生の活動	幼稚園児の活動
〇あいま	
〇外遊びコーナーを設置	
-みだごっこ	
-あななわ（へび、甲うびんやきんぐのめしものなど）	
-すなば（どうだんごつくり）	
-だるまさんがころんだ	
〇幼稚園児とお別れして、案内するペアをつくる。	〇1年生の案内で、遊びのコーナーを回る。
〇4つの遊び	



志半ばで終わったR3年度。園での活動を生かしながら、小学校の学びにつなげるために、どんなことができるのか取り組んでみました。新たなステージとしての小学校へのシフトを切り替えるではなく、今ある姿から見えてくるものを学習へとつなぐことの大切さを感じました。